

令和3年度 東京都立立川ろう学校 学校経営計画

校長 村野 一臣

令和3年度は、立川ろう学校としての最後の年となり、令和4年度から知的障害部門を併置する学校へと新たなスタートを切ることになる。増築工事が進み、昨年度から開設準備室も設置された。開校以来70年間に培ってきた立川ろう学校の歴史とろう教育の礎を次のステージにつなげていく重要な年となる。令和3年度は「バトンタッチ」をスローガンに、幼児・児童・生徒の実態に応じた指導の専門性を高め、幼児・児童・生徒が自ら学び自ら考え行動できる力を育てる教育を推進する。そして、幼児・児童・生徒が、楽しく学び、生き生きと活動できる学校を教職員全員で作る。

1 教育目標と目指す学校像

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| 教育
目標 | 1 互いの人格を尊重し、思いやることのできる心を育てる |
| | 2 社会の一員として参加し、貢献できる力を育てる |
| | 3 創造力豊かに個性を發揮し、自ら考え行動できる力を育てる |
| | 4 障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善し、克服できる力を育てる |

開校70年の歴史を踏まえ、多摩地区にある唯一の都立ろう学校として、幼児・児童・生徒が自分の有している力を伸ばすために、常にチャレンジする意識を持ち、互いに切磋琢磨する学校を目指す

- | | |
|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|
| 目指す
学校
像 | 1 聴覚に障害のある幼児・児童・生徒一人一人の聴覚障害の程度や発達段階等に応じた指導を展開し、都民の期待に応える学校づくりを推進する |
| | 2 開かれた学校づくりを進めるとともに、東京西部・多摩地域における聴覚障害教育のセンター的役割を發揮し、地域に信頼され貢献できる学校を目指す |
| | 3 令和4年度に開校する立川学園特別支援学校(仮称)に向けて、開設準備室と連携し併置校としての学校運営の準備を進めるとともに、聴覚障害教育の専門性向上及び継承ができる学校を目指す |

2 中期的目標と方策

立川学園特別支援学校(仮称)に以下の中期目標を引き継ぐことを念頭に設定する
「幼児・児童・生徒のために何が出来るか」を常に念頭に置き、精力的に先駆的な指導・支援を行い、幼児・児童・生徒の能力を最大限に伸ばさせ、一人一人が企業・地域社会、高等教育の場等で自己実現できる人材を育成する

- | | |
|----------|------------------------------------------------|
| 中期
目標 | 1 確かな言語力、学力及び社会で通用する職業に関する知識・技能を育成する |
| | 2 自主・自律の精神を涵養し、豊かな人間関係を構築する力を育成する |
| | 3 幼児・児童・生徒の実態に応じた言語能力向上を図るとともに、自立活動の充実を図る |
| | 4 いじめや体罰を許さない体制づくりに努め、人権を尊重する意識を育てる |
| | 5 健康への関心を深めるとともに体力の向上を図る |
| | 6 幼児・児童・生徒の安全・防災意識を高めるとともに、学校・家庭・地域との連携を図る |
| | 7 地域から信頼され、聴覚障害教育のセンター的役割を十分に果たす |
| | 8 教員の専門性向上による指導の充実を図る(ろう教育、ろう重複障害教育、発達障害等の専門性) |
| | 9 経営会議・企画調整会議を中心とした働き方改革を推進する学校運営体制の確立 |
| | 10 知的障害教育部門の併設及び東京都特別支援教育推進計画(第二期)・第一次計画の推進 |

- | | |
|--------|---------------------------------------------------|
| 方
策 | 1 各種客観的データに基づく個に応じた指導の充実を図る |
| | 2 ICT(タブレット端末等)を活用してわかる・できる授業を展開する |
| | 3 家庭と連携した効果的な学習指導を実現する |
| | 4 新学習指導要領に基づく高等部普通科・専攻科の教育課程の検討をする(教育課程プロジェクトの推進) |
| | 5 委員会・係活動、部活動など学校教育全体を通して、心身の調和のとれた発達を促す |
| | 6 コミュニケーション能力の育成と日本語力の向上を図る |
| | 7 人権に関する校内研修を充実させるとともに、家庭との連携を密にする |
| | 8 体力向上にむけた継続的な取り組みとして、部活動及び体育行事の充実を図る |
| | 9 防災に関する安全指導等を計画的に実施し、防災意識と緊急時の対応の向上を図る |
| | 10 地域の学校、関係機関等とのネットワークづくりに努め、特別支援教育の推進及び相談活動を拡充する |
| | 11 OJTによる授業研究を通して専門性の充実を図るとともに、校内研究と情報発信を進める |
| | 12 働き方改革を進めるため、組織改編や効率化を図り、ライフ・ワーク・バランスの実現を図る |
| | 13 開設準備室と連携した増設工事等の進行管理と安全対策の確認及び開設に向けた引継ぎ等を円滑に行う |

3 今年度の取組目標と方策

将来を見据え、社会に貢献できる子供の育成を目指し、全教職員が指導力を磨き、組織的に取り組み、目標の達成を図る

(1) 教育活動の目標と方策

- | | |
|------------|--------------------------------------------------|
| ① 学習
指導 | 1 OJTによる授業研究を進め、授業内容の改善・充実を図る【全国オンライン研究会後の成果・検証】 |
| | 2 学力向上のための定点観測並びに分析を行い、児童・生徒の学力を向上させる |
| | 3 指導教諭を活用して、授業における指導内容、指導方法の工夫や授業力の向上を図る |
| | 4 授業における「立ろう学習ルール」の徹底を図る |
| | 5 家庭学習状況を把握し、家庭と連携して学習習慣の確立を図る |
| | 6 放課後補習、朝学習等を活用し、基礎学力の向上を図り、個々の学習目標を達成できるようにする |
| | 7 自主学習ノート等を活用して、自学自習の態度を育成する |
| | 8 中学生の主張、作文コンクール、絵画展等へ積極的に応募をする |

② 進路 指導	1	幼児・児童・生徒が希望する第一進路先の実現を図る	
	2	進路・卒業後に関する情報を幼児・児童・生徒・保護者に提供するための事業を推進をする	
	3	「職場見学」「就業体験」「産業現場等における実習」「校内授業交流」等、発達段階に応じたキャリア教育を推進する	
	4	獲得した知識・技能を客観的に測るため、各種検定試験受験を推奨する	
	5	内部進学に向けた学部間の連携の充実と学部を超えた授業交流等の推進	
③ 生活 指導	1	家庭と連携した基本的な生活習慣の確立と生活マナーや社会性の育成を図る	
	2	発達段階に即した安全教育を実施する(自然災害に関する対応、避難訓練、登下校の安全指導、不審者対応、薬物乱用防止、SNS等の適正な使用、SNS各学部のルールの遵守)	
	3	いじめ・体罰の撲滅及び自殺の未然防止に向けた指導の充実を図る(コロナ禍の人権配慮)	
	4	防災に関する取り組み(宿泊訓練等)の充実及び救急救命の技量の向上を図る	
	5	発達障害等の障害の多様化に伴う幼児・児童・生徒への適切な支援の充実を図る	
	6	SNS等の利用に関して、家庭と連携し実態把握と指導の徹底を図る	
④ 特別 活動	1	幼・小・中・高等部における交流教育及び国際理解教育の充実を図る	
	2	小・中・高等部における児童会、生徒会、委員会活動を活性化し、児童・生徒の自治意識を育てる	
	3	部活動への加入を奨励し、学校生活の充実を図るとともに、自主的・自律的な態度を身に付ける	
	4	オリンピック・パラリンピック教育を推進しレガシーを構築する	
	5	主権者教育を推進する	
⑤ 健康 づくり	1	新型コロナウイルス感染予防の徹底のため、幼児・児童・生徒への指導と校内体制の整備を図る	
	2	学校全体の活動を通して健康増進・体力向上を目指した取り組みを実施する	
	3	健康づくり、食育推進及びアレルギー等への対応の充実を図る	
	4	安全な医療的ケアの推進に向けた緊急時の対応を含む校内体制の充実を図る	
	5	運動・スポーツに親しむ幼児・児童・生徒を育成する	
⑥ 広報 活動 セン ターの 機能	1	ホームページの迅速な更新などを通して、外部への情報発信を積極的に実施する	
	2	聴覚障害のある乳幼児のための教育相談を推進する	
	3	地域に在住している聴覚障害児のための相談・支援の充実を図る	
	4	「放課後子供教室」の活動の充実に向け、支援をする	
⑦ 学校 経営 組織 体制	1	企画調整会議で、学校経営計画の進行管理及び組織間の連絡調整を行い、学校改善を進める	
	2	主幹教諭、主任教諭のリーダーシップのもと学校課題の解決に取り組みせるとともに、会議の効率化を図る	
	3	学校運営連絡協議会による学校評価を活用し、教職員の資質向上を図るとともに、組織の活性化を図る	
	4	立川学園特別支援学校(仮称)開設準備室との連携による併置校に向けた円滑な引継ぎを行う	
	5	危機管理に向けたヒヤリハット事例の活用を進める	
	6	経営企画室と連携し、学校経営、組織マネジメントの改善を進める(行政系職員一人一提案)	
	7	就学奨励費・私費会計の適正な管理及び個人情報情報の管理を徹底する	
	8	校長通信や掲示板等を活用して教職員の確実な情報共有を迅速に進める	
	9	校内の美化に努めるとともに、クリーンデスク等の整理・整頓を進め、校務の効率化を図る	
	10	学事事務システム等の活用に向けた校内体制の整備を進める	
(2) 重点目標と数値目標			
① 学習 指導	1	◎OJTによる授業力・専門性の向上【研究授業(一人1回以上)、OJT報告会、学習指導アドバイザー活用、専門性チェックリスト・授業力チェックリストの活用、言語指導の充実:手話力の向上等各自の課題の明確化(手話研修、手話検定、技能検定受験促進)】	全教員・各学部・研究部・OJTグループ・指導教諭
	2	◎立ろうバトンタッチ・プロジェクト【Tシャツプロジェクト他、3月8日新しい学校へバトンタッチの会実施】	経営会議・PT・各学部
	3	○学力調査の実施及び昨年度結果と比較分析【データ作成及び個別指導計画への活用、幼稚部:客観的テストの活用】	各学部・教務部・進路指導部
	4	◎自主的な学習態度の育成【学習記録等を活用した学習計画の定着と分析:小・中・高:学校運営連絡協議会での報告、家庭学習の実態調査:年2回(幼・小・中・高)校内表彰(中)年3回、手帳の活用(高)】	各学部・教務部・経営会議
	5	○学習の手引の作成・実施と改善【小・中・高】	小・中・高・教務部
	6	◎立ろう学習ルールの定着度の経年変化分析【年3回実施、傾向分析】	小・中・高・研究部
	7	○読書率の向上に向けて取り組み及び過去3年間の経年変化の分析【A3版報告書作成】	研究部
	8	○英検・漢検・数検・職業に関する各種検定等への受験を推奨及び合格率の向上【データ入力】	小・中・高・進路指導部
	9	◎ICTを活用した教育の実践及びプログラミング学習の充実【校内規定の整備、高等部と連携した授業実践:A3版報告書、タブレット端末活用事例】	教務部・研究部小・中・高情報系・ICT整備担当者会
	10	○授業研究連携校(交流校)との授業改善の推進【授業参観、研究授業への招へい】	小・中・高・教務部
	11	◎高等部における新学習指導要領に基づく教育課程編成及び教科書選定【報告書作成】	高各教科・PT・教務部
	12	◎カリキュラム・マネジメントの推進【2021年中学部完全実施、評価システムの確立】	教務部・経営会議
② 進路 指導	1	◎キャリア教育に関する情報提供【全体計画の評価・改善、幼保護者講座(乳相との連携)、小キャリア教育計画改善、保護者会、重複障害学級における作業学習等の充実】	進路指導部・教務部・各学部、乳幼児教育相談
	2	◎高等部普通科卒業時の進学希望者の合格実現【100%】	高等部・進路指導部
	3	◎自分の適性を知り、適切な進路を見出すための現場実習を実施する。【高普通科2年、専攻科1年1回以上、一般就労希望者採用・福祉就労希望者採用100%】	進路指導部

② 進路指導	<p>4 ○進路・卒業後に関する情報を生徒・保護者等に提供するための事業【年1回以上】</p> <p>5 ◎進路に関する情報の保護者への提供【「進路便り」年10回発行、学部・学年・学級便りによる情報発信、教員用進路の手引き作成、立川学園(仮称)に向けた就学・入学相談、見える校内放送の活用等】</p> <p>6 ◎学部間の連携と引き継ぎの充実【引き継ぎ会、個別指導計画等の活用、保護者会等での情報提供、保護者講座等】</p> <p>7 ○社会貢献活動の推進【ボランティア活動】</p>	<p>進路指導部・乳幼児教育相談 進路指導部・見える校内放送担当者会・乳幼児教育相談 管理職・各学部・教育相談部・進路指導部・乳幼児教育相談 中学部・高等部</p>
③ 生活指導	<p>1 ◎いじめ・体罰に関する過去3年間の指導結果の分析【いじめ防止対策委員会報告書】</p> <p>2 ◎情報モラルに関する取り組みの実施【年3回】【情報モラルの取組報告書】</p> <p>3 ○挨拶、遅刻をしない、物・金銭の管理等基本的な生活習慣の定着指導【年3回】 行動指針:挨拶、身だしなみ、時間管理、整理・整頓</p> <p>4 ◎個々の特性に応じた指導方法の検討(ケース会議・支援会議・研修会の計画的実施、SSWとの連携)</p> <p>5 ○より災害を想定した避難訓練の実施【併置化に向けた検討、ライフラインが停止した際の避難訓練】</p>	<p>生活指導部・いじめ委 生活指導部 生活指導部・全教職員 各学部・全教員・校内コーディネーター 生活指導部</p>
④ 特別活動	<p>1 ◎オリンピック・パラリンピック教育の充実【A3版報告書作成】</p> <p>2 ○近隣交流校との行事交流・生徒会交流及び共同学習の実施【各学部学期1回】</p> <p>3 ○スポーツ推進事業の推進【都指定事業】</p>	<p>各学部・教務部・PT 生活指導部 高等部・体育科</p>
⑤ 健康づくり	<p>1 ◎新型コロナウイルス感染症予防対策への組織的取組【東京都のガイドライン等に沿い、年間を通して】</p> <p>2 ◎幼児・児童・生徒の体力分析及び向上に向けた取り組みの充実【年間を通して】</p> <p>3 ○保健室・栄養士から見た健康・安全に関する情報提供【保健だより・給食だより・オリパラ給食情報提供、見える校内放送の活用、A3版報告書】</p> <p>4 ○ヒヤリハット集の分析【月1回以上】</p> <p>5 ◎教職員の救急救命時の技能向上【普通救急救命の受講:15名】</p> <p>6 ◎医療的ケアの実施に伴う緊急時の対応【研修:学期1回、対応マニュアル作成】</p>	<p>保健給食部・生活指導部・各学部 各学部・体育科・全教職員 保健給食部・養護教諭 経営会議・保健室・生活指導部 生活指導部 医ケア安全委員会・保健給食部</p>
⑥ 広報活動・センター的機能	<p>1 ◎医療・保健機関等と連携した乳幼児教育相談の充実【年間80ケース以上】</p> <p>2 ◎乳幼児教育相談状況の分析及び理解啓発【情報発信(パンフレット、ホームページ等)、研修会の企画・運営】</p> <p>3 ○通級による指導及びきこえとことばの教育的支援の実施【年間を通して】</p> <p>4 ○高等学校への理解啓発【パンフレット等の配布】</p> <p>5 ◎立川学園(仮称)に開設に向けたホームページの準備と迅速な更新【更新回数月2回以上】</p>	<p>乳幼児教育相談 乳幼児教育相談 コーディネーター・自立活動担当者会 教育相談部 教育相談部・各学部</p>
⑦ 学校経営組織体制	<p>1 ◎体罰・不適切な指導・服務に関する研修会の実施【年4回、ヒアリング年3回以上】</p> <p>2 ◎個人情報管理の適正な管理【一斉点検年3回、ヒアリング年3回以上】</p> <p>3 ◎併置化に向けた開設準備室との連携、校内整備及びクリーンデスクの推進【連絡会(月2回以上、経営会議で協議(月1回)、工事打合せ(週1回)、不要物の廃棄、職員室等の整理、クリーンデスクキャンペーン、週末クリーンデスク、年度末移動計画)】</p> <p>4 ◎働き方改革に向けた取組の推進:立川学園(仮称)に向けて開設準備室連携して実施【時間外労働80時間以上0、執務室の整理・整頓、会議時間の短縮(Skype、メール、掲示板等の利用)ファイルサーバーの整理、スケジュール管理、学部・マイ定時退庁日、UDトーク等の活用他】</p> <p>5 ○就学奨励費及び私費会計の適切な管理に関する研修の実施【年2回】</p> <p>6 ◎立ちろバトンタッチ・プロジェクトの推進【幼児・児童・生徒の取組、工事対応、校内整備、新校舎への移転他】</p> <p>7 ◎集団補聴システム更新に向けた準備【校内研修、管理運営規程の整備等】</p>	<p>管理職・全教職員 管理職・全教職員 管理職・全教職員・経営会議・バトンタッチPT・働き方改革作業部会 管理職・経営会議・働き方改革作業部会・情報保障担当者会 経営企画室・副校長 経営会議・バトンタッチPT・全教職員 自立活動担当者会・経営企画室・全教職員</p>

◎は、最重要課題

令和3年度東京都研究指定事業

- ・特別支援学校におけるスポーツ教育推進
- ・特別支援学校における宿泊防災訓練
- ・授業研究連携校との連携事業
- ・令和3年度海外学校間交流推進校